

## 【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成25年11月13日
【四半期会計期間】	第166期第3四半期（自 平成25年7月1日 至 平成25年9月30日）
【会社名】	静岡瓦斯株式会社
【英訳名】	SHIZUOKAGAS CO.,LTD.
【代表者の役職氏名】	取締役社長 戸野谷 宏
【本店の所在の場所】	静岡県静岡市駿河区八幡一丁目5番38号
【電話番号】	054(284)4141（代表）
【事務連絡者氏名】	コーポレートサービス部経理担当マネジャー 森田 将信
【最寄りの連絡場所】	静岡県静岡市駿河区八幡一丁目5番38号
【電話番号】	054(284)4141（代表）
【事務連絡者氏名】	コーポレートサービス部経理担当マネジャー 森田 将信
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 （東京都中央区日本橋兜町2番1号）

## 第一部【企業情報】

### 第1【企業の概況】

#### 1【主要な経営指標等の推移】

回次	第165期 第3四半期 連結累計期間	第166期 第3四半期 連結累計期間	第165期
会計期間	自 平成24年1月1日 至 平成24年9月30日	自 平成25年1月1日 至 平成25年9月30日	自 平成24年1月1日 至 平成24年12月31日
売上高 (百万円)	108,337	113,328	144,307
経常利益 (百万円)	6,968	5,141	8,133
四半期(当期)純利益 (百万円)	3,684	2,518	4,078
四半期包括利益又は包括利益 (百万円)	4,617	4,808	5,528
純資産額 (百万円)	58,611	62,568	59,521
総資産額 (百万円)	111,672	112,337	113,429
1株当たり四半期(当期)純利益 (円)	50.38	34.42	55.76
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益 (円)	-	-	-
自己資本比率 (%)	45.7	49.1	45.7

回次	第165期 第3四半期 連結会計期間	第166期 第3四半期 連結会計期間
会計期間	自 平成24年7月1日 至 平成24年9月30日	自 平成25年7月1日 至 平成25年9月30日
1株当たり四半期純利益 (円)	10.88	9.49

(注) 1 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2 売上高には、消費税及び地方消費税(以下「消費税等」という。)は含まれておりません。

3 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益は、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

#### 2【事業の内容】

当第3四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営んでいる事業の内容に重要な変更はありません。また、主要な関係会社の異動もありません。

なお、当社の連結子会社であるエスジークレジットサービス(株)は静岡ガスクレジット(株)に、エスジー保険サービス(株)は静岡ガス保険サービス(株)に、平成25年4月1日付けでそれぞれ社名変更しております。

## 第2【事業の状況】

### 1【事業等のリスク】

当第3四半期連結累計期間において、新たに発生した事業等のリスクはありません。また、前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」について重要な変更はありません。

### 2【経営上の重要な契約等】

当第3四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

### 3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

#### (1) 経営成績の分析

当第3四半期連結累計期間の売上高は、原料費調整制度によるガス販売単価の上方調整等により、前年同期に比べ4.6%増の113,328百万円となりました。

営業利益は、原料価格の上昇がガス販売単価に反映されるまでのタイムラグによる影響等により、前年同期に比べ28.0%減の4,923百万円となり、経常利益は26.2%減の5,141百万円、四半期純利益は31.7%減の2,518百万円となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

なお、下記のセグメント別業績数値には、セグメント間の内部取引を含んでおります。

#### ガス

ガス販売量は、大口工業用で新規物件の獲得がありましたが既存需要家設備の稼働が減少したことなどにより、前年同期に比べ2.2%減の1,035百万m<sup>3</sup>となりました。

売上高は、ガス販売量が減少しましたが、原料費調整制度によるガス販売単価の上方調整等により、前年同期に比べ4.4%増の98,642百万円となりました。

一方、原料価格の上昇等により売上原価が増加したことや、原料価格の変動がガス販売単価に反映されるまでのタイムラグがあることなどから、セグメント利益（営業利益）は前年同期に比べ19.0%減の6,885百万円となりました。

#### LPG・その他エネルギー

LPG販売は、ガス販売量が減少しましたが、原料価格の上昇に伴うガス販売単価の上方調整等により、売上高は前年同期に比べ3.9%増の9,112百万円となりました。一方、売上原価が原料価格の上昇等により売上高を上回る増加となったことなどから、セグメント利益（営業利益）は34.5%減の402百万円となりました。

#### その他

設備工事売上の増加等により売上高は前年同期に比べ3.4%増の9,304百万円となり、セグメント利益（営業利益）は133百万円増の127百万円となりました。

#### (2) 財政状態の分析

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、株式市況の影響により投資有価証券の評価額が増加しましたが、既存設備の減価償却が進んだことや、原料在庫金額が減少したことなどから、前連結会計年度末に比べ1,092百万円減の112,337百万円となりました。

負債は、有利子負債が減少したことに加え、建設工事代金等の未払金や未払法人税等が減少したことなどから、前連結会計年度末に比べ4,138百万円減の49,768百万円となりました。

純資産は、四半期純利益の計上により利益剰余金が増加したことや、投資有価証券の時価評価差額が増加したことなどから、前連結会計年度末に比べ3,046百万円増の62,568百万円となり、自己資本比率は49.1%となりました。

#### (3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第3四半期連結累計期間において、当社グループの事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

#### (4) 研究開発活動

当第3四半期連結累計期間の研究開発費の総額は2百万円であります。

### 第3【提出会社の状況】

#### 1【株式等の状況】

##### (1)【株式の総数等】

###### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	240,000,000
計	240,000,000

###### 【発行済株式】

種類	第3四半期会計期間 末現在発行数(株) (平成25年9月30日)	提出日現在 発行数(株) (平成25年11月13日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	76,192,950	76,192,950	東京証券取引所 (市場第一部)	単元株式数 100株
計	76,192,950	76,192,950		

##### (2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

##### (5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (百万円)	資本金残高 (百万円)	資本準備金 増減額 (百万円)	資本準備金 残高 (百万円)
平成25年7月1日～ 平成25年9月30日		76,192,950		6,279		4,098

##### (6)【大株主の状況】

当四半期会計期間は第3四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7)【議決権の状況】

当第3四半期会計期間末日現在の議決権の状況については、株主名簿の記載内容が確認できず、記載することができませんので、直前の基準日である平成25年6月30日現在で記載しております。

【発行済株式】

平成25年6月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 3,053,000		
完全議決権株式(その他)	普通株式 73,104,000	146,208	
単元未満株式	普通株式 35,950		一単元(500株)未満の株式
発行済株式総数	76,192,950		
総株主の議決権		146,208	

(注)平成25年5月9日開催の取締役会決議により、平成25年7月1日付で単元株式数の変更に伴う定款の変更を行い、単元株式数は100株となっております。

【自己株式等】

平成25年6月30日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
(自己保有株式) 静岡瓦斯株	静岡県静岡市駿河区 八幡一丁目5番38号	3,053,000		3,053,000	4.00
計		3,053,000		3,053,000	4.00

2【役員の状況】

該当事項はありません。

## 第4【経理の状況】

### 1 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）及び「ガス事業会計規則」（昭和29年通商産業省令第15号）に基づいて作成しております。

### 2 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3四半期連結会計期間（平成25年7月1日から平成25年9月30日まで）及び第3四半期連結累計期間（平成25年1月1日から平成25年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、有限責任監査法人トーマツにより四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】  
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
<b>資産の部</b>		
<b>固定資産</b>		
<b>有形固定資産</b>		
製造設備	21,668	19,428
供給設備	29,302	28,397
業務設備	4,045	5,864
その他の設備	4,239	4,225
建設仮勘定	9,590	8,894
<b>有形固定資産合計</b>	<b>68,845</b>	<b>66,810</b>
無形固定資産	1,884	1,619
<b>投資その他の資産</b>		
投資有価証券	7,201	9,395
長期貸付金	7,078	7,578
繰延税金資産	800	429
その他投資	1,106	1,174
貸倒引当金	209	196
<b>投資その他の資産合計</b>	<b>15,977</b>	<b>18,381</b>
<b>固定資産合計</b>	<b>86,707</b>	<b>86,811</b>
<b>流動資産</b>		
現金及び預金	497	622
受取手形及び売掛金	11,685	11,949
商品及び製品	362	383
原材料及び貯蔵品	9,476	9,006
繰延税金資産	632	640
その他流動資産	4,126	2,976
貸倒引当金	57	53
<b>流動資産合計</b>	<b>26,722</b>	<b>25,525</b>
<b>資産合計</b>	<b>113,429</b>	<b>112,337</b>

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
<b>負債の部</b>		
固定負債		
長期借入金	22,304	19,859
繰延税金負債	19	263
退職給付引当金	2,648	2,337
ガスホルダー修繕引当金	94	94
負ののれん	256	80
その他固定負債	463	377
固定負債合計	25,786	23,013
流動負債		
1年以内に期限到来の固定負債	7,272	6,452
買掛金	7,946	7,514
短期借入金	6,156	8,306
未払金	2,011	940
未払法人税等	1,896	906
賞与引当金	446	988
その他流動負債	2,392	1,646
流動負債合計	28,121	26,755
負債合計	53,907	49,768
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,279	6,279
資本剰余金	4,589	4,589
利益剰余金	40,235	42,057
自己株式	1,551	1,551
株主資本合計	49,552	51,375
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,228	3,834
繰延ヘッジ損益	-	10
その他の包括利益累計額合計	2,228	3,823
少数株主持分	7,740	7,369
純資産合計	59,521	62,568
負債純資産合計	113,429	112,337



(2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】  
【四半期連結損益計算書】  
【第3四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成24年1月1日 至 平成24年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年1月1日 至 平成25年9月30日)
売上高	108,337	113,328
売上原価	83,347	90,216
売上総利益	24,990	23,111
供給販売費及び一般管理費	18,151	18,187
営業利益	6,838	4,923
営業外収益		
受取利息	112	132
受取配当金	76	86
負ののれん償却額	177	176
雑収入	194	201
営業外収益合計	561	596
営業外費用		
支払利息	400	361
雑支出	31	16
営業外費用合計	431	378
経常利益	6,968	5,141
特別損失		
固定資産売却損	-	71
減損損失	-	<sup>1</sup> 314
投資有価証券評価損	172	-
特別損失合計	172	385
税金等調整前四半期純利益	6,796	4,755
法人税等	2,510	1,548
少数株主損益調整前四半期純利益	4,285	3,207
少数株主利益	600	689
四半期純利益	3,684	2,518

【四半期連結包括利益計算書】  
 【第3四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	4,285	3,207
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	326	1,611
繰延ヘッジ損益	5	10
その他の包括利益合計	331	1,601
四半期包括利益	4,617	4,808
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,016	4,113
少数株主に係る四半期包括利益	600	694

【会計方針の変更等】

当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年1月1日 至 平成25年9月30日)
(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更) 当社及び連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成25年1月1日以降に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。これにより、従来の方法に比べて、当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ90百万円増加しております。

【四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理】

当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年1月1日 至 平成25年9月30日)
(税金費用の計算) 税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益(累計期間)に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

【追加情報】

当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年1月1日 至 平成25年9月30日)
平成25年9月25日開催の取締役会において、当社が所有する土地(静岡市駿河区八幡一丁目1番1ほか4,105.39㎡)を日本放送協会に対し売却することを決議し、平成25年10月18日に売却いたしました。 なお、当該売却により、当連結会計年度の連結損益計算書において、約900百万円の特別利益を計上する予定であります。

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

偶発債務

下記関係会社の金融機関からの借入に対し、債務保証を行っております。

	前連結会計年度 (平成24年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
静岡パイプライン㈱	4,890百万円	5,163百万円

(四半期連結損益計算書関係)

1 減損損失

当第3四半期連結累計期間(自 平成25年1月1日 至 平成25年9月30日)

当社グループは、以下の資産グループについて減損損失を計上しております。

用途	種類	場所	減損損失(百万円)
業務設備	建物	静岡県静岡市	307
業務設備	構築物等	静岡県静岡市	6

当社グループは、他の資産又は資産グループのキャッシュ・フローから概ね独立したキャッシュ・フローを生み出す最小の単位によって資産のグルーピングを行っております。

当第3四半期連結累計期間において、新社屋建設により未使用となった建物等について、帳簿価額を回収可能額まで減額し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上しました。

なお、回収可能額は使用価値により測定しており、回収可能額はないものとしております。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)及び負ののれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成24年1月1日 至 平成24年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年1月1日 至 平成25年9月30日)
減価償却費	8,057百万円	7,127百万円
負ののれんの償却額	177百万円	176百万円

(株主資本等関係)

前第3四半期連結累計期間(自 平成24年1月1日 至 平成24年9月30日)

(1) 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年3月22日 定時株主総会	普通株式	329	4.5	平成23年12月31日	平成24年3月23日	利益剰余金
平成24年8月8日 取締役会	普通株式	329	4.5	平成24年6月30日	平成24年9月3日	利益剰余金

(2) 基準日が当連結会計年度の開始の日から当四半期連結会計期間末までに属する配当のうち、配当の効力発生日が当四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自 平成25年1月1日 至 平成25年9月30日)

(1) 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年3月22日 定時株主総会	普通株式	329	4.5	平成24年12月31日	平成25年3月25日	利益剰余金
平成25年8月7日 取締役会	普通株式	365	5.0	平成25年6月30日	平成25年9月3日	利益剰余金

(2) 基準日が当連結会計年度の開始の日から当四半期連結会計期間末までに属する配当のうち、配当の効力発生日が当四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自平成24年1月1日至平成24年9月30日)  
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	ガス	LPG・ その他 エネルギー	計				
売上高							
外部顧客への売上高	93,971	8,543	102,514	5,822	108,337		108,337
セグメント間の内部売上高又は振替高	527	229	756	3,174	3,931	3,931	
計	94,498	8,773	103,271	8,997	112,268	3,931	108,337
セグメント利益又は セグメント損失( )	8,501	613	9,114	5	9,109	2,270	6,838

- (注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、受注工事及びガス機器販売事業、リフォーム事業、リース事業等を含んでおります。
- 2 セグメント利益又はセグメント損失の調整額 2,270百万円には、セグメント間取引消去168百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用 2,439百万円が含まれております。全社費用は、報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
- 3 セグメント利益又はセグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第3四半期連結累計期間(自平成25年1月1日至平成25年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	ガス	LPG・ その他 エネルギー	計				
売上高							
外部顧客への売上高	98,060	8,867	106,928	6,399	113,328		113,328
セグメント間の内部売上高又は振替高	582	244	826	2,904	3,731	3,731	
計	98,642	9,112	107,754	9,304	117,059	3,731	113,328
セグメント利益	6,885	402	7,287	127	7,415	2,491	4,923

- (注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、受注工事及びガス機器販売事業、リフォーム事業、リース事業等を含んでおります。
- 2 セグメント利益の調整額 2,491百万円には、セグメント間取引消去185百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用 2,677百万円が含まれております。全社費用は、報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
- 3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更に記載のとおり、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成25年1月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これにより、従来の方法に比べて、当第3四半期連結累計期間のセグメント利益が、「ガス」セグメントで61百万円、「LPG・その他エネルギー」セグメントで5百万円、「調整額」で23百万円増加しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する事項

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他	全社・消去	合計
	ガス	LPG・ その他 エネルギー	計			
減損損失	86		86		227	314

(注) 「全社・消去」の金額は、新社屋建設により未使用となった建物等に係るものであります。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年9月30日)
1株当たり四半期純利益	50円38銭	34円42銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益 (百万円)	3,684	2,518
普通株主に帰属しない金額 (百万円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益 (百万円)	3,684	2,518
普通株式の期中平均株式数 (株)	73,140,702	73,140,006

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式がないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

平成25年8月7日開催の取締役会において、第166期の中間配当を行うことを決議しました。

中間配当総額	365百万円
1株当たり中間配当額	5円00銭
支払請求権効力発生日 並びに支払開始日	平成25年9月3日

## 第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成25年11月6日

静岡瓦斯株式会社  
取締役会 御中

有限責任監査法人トーマツ

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 浅野 裕史

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 篠原 孝広

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている静岡瓦斯株式会社の平成25年1月1日から平成25年12月31日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間(平成25年7月1日から平成25年9月30日まで)及び第3四半期連結累計期間(平成25年1月1日から平成25年9月30日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、静岡瓦斯株式会社及び連結子会社の平成25年9月30日現在の財政状態及び同日をもって終了する第3四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

- (注) 1 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。  
2 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれておりません。